

## 釧路市中心市街地活性化協議会 第2回運営委員会 議事録

開催日時：平成20年12月1日(月)13:30~15:00  
 場所：道東経済センター 3階 研修室  
 出席者：運営委員・オブザーバー・事務局(計22人)

### 1. 開 会

高橋事務局長より開会を宣した。

### 2. 挨 拶

濱屋運営委員長より挨拶

### 3. 議 事

規約4条2項により運営委員長が議長となるので、運営委員長に議事進行を行った。

#### 議長

事務局へ議事(1)釧路市中心市街地活性化基本計画について説明を依頼。

#### 事務局

運営委員会は、協議会へ基本計画事業の具体的な提案を目指し、専門部会でのハード、ソフトの新規事業の提案、実施について協議された結果を含め関係機関等の調整を行い現在進めておりますが、タウンマネージャーより「中心市街地活性化の考え方」コンセプト等について部会ワーキングを含め検討されてきている内容等について、続いてコンセプト内容から「搭載予定事業」について担当者より、説明をする旨の説明。

#### タウンマネージャー

専門部会である商業活性化部会を中心に、再開発事業の必要性が協議された結果を踏まえ、中心市街地活性化全体の考え方と再開発事業について説明。

#### <コンセプト案>

##### ・交通観光

リバーサイドの感幸(観光)の促進...

自然の魅力を中心街へ取り込むアプローチ。

##### ・商業活性化

中心市街地アンドピフォア...

釧路の本来の美しさ、大切なものを今の時流にあった内容で再生。

釧路のイメージを反映させる、まちなみの再現。

##### ・まちなか居住

まちなか居住の促進...

釧路川の景観を活かしつつ、都市の利便性と安全、快適性を感じられる居住環境の形成

<再開発事業>

- ・空きビル・空き店舗再生...  
単体では難しく、道路を含めたゾーンとして捉える。  
地産地消店（レストラン含む）
- ・複合施設...  
スーパーを核とし、ファッション・文化・飲食・地産地消・医療モール・託児所・パ  
スポーツプラザ・ミュージアム・温浴施設・賃貸マンション・高齢者マンション（居  
住環境形成）等、これらを含む複合施設。
- ・釧路駅前...  
ホテル客をターゲットにした飲食店・観光物産店（検討中）
- ・北大通道路による活性化...  
歩行者天国（商店街等の若手の方々が企画中）。
- ・駐車帯設置...  
広い道路を駐車帯にできるか、警察と検討。
- ・駅北口のバリアフリー化...  
現在、北大通がバリアフリー化の工事中である。引き続き、若松・共栄大通り地区へ  
エリア拡大の要望。
- ・釧路駅への要望...  
駅の高架化には、かなりの時間を要するため、現在の駅舎の一部リニューアルや、空  
きスペースの活用。
- ・若松・共栄大通り...  
高齢者マンション（近隣に病院が多い）。お茶会の拡大（商店街女性部の取り組み）。  
食事、コミュニティの場を、もっと積極的に。
- ・バス会社との連携...  
中心市街地へのアクセスの効率化。200円区間を100円引き券（商店街へ働きかけ）。  
1月か2月頃に試験的に実施する予定。
- ・サイクリング車の利用...  
わっと・入舟4丁目プロジェクトでの取り組み。
- ・入舟4丁目再生計画...  
旧港町ビールの、地ビール製造再開、かもめ食堂、かもめ市、これらの活性化の支援  
をしていきたい。
- ・リバーサイド...  
パラソルショップ - まちづくり会社で検討中。

引き続き、再開発事業の当面の流れについて、タウンマネージャーより説明が行なわれた。

議長

中心市街地活性化の取組概要。また、再開発事業のスケジュールは、市街地において、何か早急に取り掛からなければならない事業が発生した場合には、この事業計画案の作成を早めなければならないとお願いしたいと説明した。

引き続き、釧路市において考えられる基本計画に登載しなければならない、または、するべきであろう事業を、継続事業も含め、説明を依頼した。

#### 釧路市担当者

現時点での未確定を含み、中心市街地活性化に最低限必要と思われる事業を40項目、行政事業と民間事業を洗い出しながら記載。

#### 40の事業を分類

- ・市街地再開発関係
  - リバーサイド整備事業、耐震旅客岸壁等整備事業 他
- ・都市福利施設関係
  - 日本銀行釧路支店移転事業（それに伴う日銀施設の見学等） 他
- ・まちなか居住関係
  - 借上公営住宅推進事業（旭町へ建設中） 他
- ・商業活性化関係
  - M00 リニューアルプランの推進、旭小学校跡地活用事業、北大通歩行者天国事業、まちの賑わい再生プロジェクト事業、北大通花街道事業、空き店舗活用事業資金、大型空き店舗等活用支援事業、釧路大漁どんぱく事業、くしろ氷まつり次長、MICE体制推進事業、商店街実態調査事業 他
- ・公共交通関係
  - 地域公共交通総合連携 他

中心市街地の活性化のためには、単なるイベントを実施するという事ではなく、集客する核となる事業の必要性あり国の補助金活用が出来るような事業が、今のところなく、再開発計画の核になる事業が見出されていない。特に、商業活性化を目指すには、核となる事業がないという現状から、計画決定を下す状況にないと報告。

#### <質問> 釧路支庁担当者(オブザーバー)

核となる事業もなしに、再開発が出来るのか。コンセプトは、再開発事業をメインにしているが、基本計画には位置付けされていない。例えば、ポケットパーク事業を新規で位置付けようとしているようですが、それを活用したコンセプトや具体的な事業等はコンセプト案には出していない。それから、認定時期についても、はっきりと分からなかったのですが、当初の予定では、年度内を予定していたようですが、再開発事業のスケジュールでは、3月の位置付けは殆ど不可能に近いのではないかと思います。逆に言えば、確固たる事業が無い中で、実際に計画をどのように動かすのか等を、整理されないと計画自体としての意味あいも非常に難しいものになってくると思います。その辺りを、まちづくり会社と市で、どの様に整合されているのか。

再開発は大きな事業となるため、M00も含めて取り組んだとして、うまく機能しない場合も考えられることから、取り組みの基本をキチンとしなくては、失敗の繰り返しになるのではないだろうか。

< 応答 > 釧路市担当者

整合性の関係ですが、私どもの基本計画掲載予定事業の一覧に出ているのは、5年間の中で実施できる事業ということで表にあげました。それから、先ほどタウンマネージャーから説明があった事業で、スケジュールあるように、あくまでも、短期、中期、長期になかで、こういった事業を進めて行きたいということでの説明だと思っております。ですから、この辺りの計画を取り上げて、活性化を図る事業として相応しいと思われる事業を40事業あげました。

スケジュールに関してですが、現在まで認定された市が、66市あり、最近の認定状況を見ますと、約9ヶ月から1年以上かかっているという状況です。先ほど、予定事業一覧の中でお話ししましたが、国の認定を受けることによって補助金が頂ける事業が、現在のところ見出す状況に至っていないですから、来年3月を認定時期として資料を作っておりますが、いろいろな状況等を考え合わせまして、3月認定は難しいと思われます。その後につきましては、核事業の洗い出しが可能となった時点で協議に入り、認定に向けて準備するというように進めて行きたいと思っております。

< 応答 > タウンマネージャー

再開発事業と言われている部分のエリアを捉え、主たる地権者の意向調査の内容を踏まえて、いろんな事業に分かれていくであろうと捉えております。現段階では、ある程度のエリアを捉えて、地権者の意向次第により、ある程度の意向が見えた段階で、事業の中身を精査させていき、どのような事業化が得策なのかを踏まえ分かれていくと捉えています。それと同時に、ある程度の事業になると、民間デベロッパーが事業主体として、同時にあげていかなければならないという部分がありますから、まだ現段階としては、その掘り起こしという段階であると捉えております。それから、休み所・ポケットパークについては、北大通9丁目の大手家電店跡が屋内型の休み処に、なろうかと捉えている案件ではあります。現段階では具体化に至っていないので、具体化になり次第、掲載事項にあげていくこととなります。ですから、現状としては掲載可能なものという部分は、まだ、検討及び計画段階ということになっております。

< 応答 > 議長

事業や考え方や立地や内容の具体化には、まだ至っておりません。市では、今までやってきた部分など、中心市街地活性化事業に必ず活かせるというものを区分けして説明しているという状況です。今後、この調整を諮っていかなければなりません。もう少し、皆さんのご意見を伺いたいと思います。

< 意見 > 委員（都市機能増進）

何度も協議しているが、いつまで経っても進まない。早く実施したほうがいい。

< 応答 > 議長

関係権利者の同意を得ないうちには、公表も難しい状況です。勝手に動いているように感じられる。

< 意見 > 委員（商店街）

どれから取り掛かるか明確じゃない。中心市街地活性化の必要性を明確にする。計画倒れの時期が来るのではないか。

< 意見 > 委員（教育文化）

10月から11月にかけて、4週間に渡って市民中心の芸術祭を開催した。昨年まであった菊祭りが開催されなくなった。現在は、帯広と北見で開催しているが、主催者の高齢化等により、30回を区切りに釧路は無くなった。寒くなると、なかなか人が集まりづらくなるものだが、この菊祭りの期間中は1万5千人もの市民が集まるイベントであったため、大変残念に思う。北大通の花街道と共同事業としてできないか。そのような物をいかすような取り組みが活性化であり組み込んで欲しい。

< 応答 > 議長

高齢化によりあのような大規模な取り組みは出来ないのですが現在、菊祭りの会員の方が、今後の再開に向けて取り組んでいる。

< 質問 > 委員（市民団体・まちづくり団体）

釧路の空き店舗の家賃が高いのは、税金のせいなのか。

< 応答 > 釧路市担当者

固定資産税の関係は、私の立場からお答えは出来ません。

< 意見 > 委員（教育文化）

河畔開発公社の決算が発表され収支がゼロとすばらしい決算ですが、釧路バスの取り組みで60歳以上2ヶ月間乗り放題、市で助成されていると思いますが利用者の思いが伝わっているのか。効果がなければ、その分、市の駐車場の料金を安くするとかが必要である。郊外のスーパーの賑わい、込み合い、あの1~2割が来てくれれば北大通は変わって行くのではと思っている。

< 応答 > 釧路市担当者

釧路バスでは人口が減少するなか経営も厳しくなっており、公共交通としての取り組みに努力をされております。釧路市も公共交通を活用し市民を、中心市街地へ集めたいと努力をしております。郊外は駐車場が無料等の面から、どうしても中心市街地から足が遠のいてしまう。皆様の意見を反映し進めて行きたいと考えている。

< 応答 > 議長

あくまでも、これからの高齢化社会に向けて、バスやタクシーを失くす訳にはいかないとの観点から議論をし、アイデアを考えております。

< 質問 > 釧路支庁担当者（オブザーバー）

再開発事業の、食品スーパーの位置付け等、入店企業などの具体的な候補はあるのか。

< 応答 > 議長

ここまでするには、地権者等の意向をとらないと問題が発生する。地域として食品スーパーが第一に必要なのは確かであるが、現段階では、見込みがあるとか、どこだとは言えない。権利者の同意を得て、公表できる段階に来たら公表していきたい。

議長

事務局へ今後のスケジュールについて説明を依頼。

事務局

中心市街地活性化のコンセプトを実現するために、主たる事業の実現に向け全力を入れて取り組めますが、タウンマネージャーからも説明がありました、地権者への説明、再開発の素案の作成も今後進めていきます。7月から発足し、当初の予定では来年3月を目途に運営委員会、専門部会、ワーキング等会合を開催してきております。各専門部会の他にも、各商業者や事業者等にもあたりながら具体化に向け、ご協力を頂きながら年度内を目標に進めてきておりますが、先ほどの話にもありましたとおり、再開発には地権者等の同意を含め、時間を要するという状況です。

全体の会議ですが、2月を目途に第3回目の協議会に、素案の提示ができるように進めております。第4回協議会につきましては、次年度の方向性等を含めて、再度、全体の協議を進めるべく、年度末の3月を予定と説明した。

以上で全ての案件を終了し閉会した。